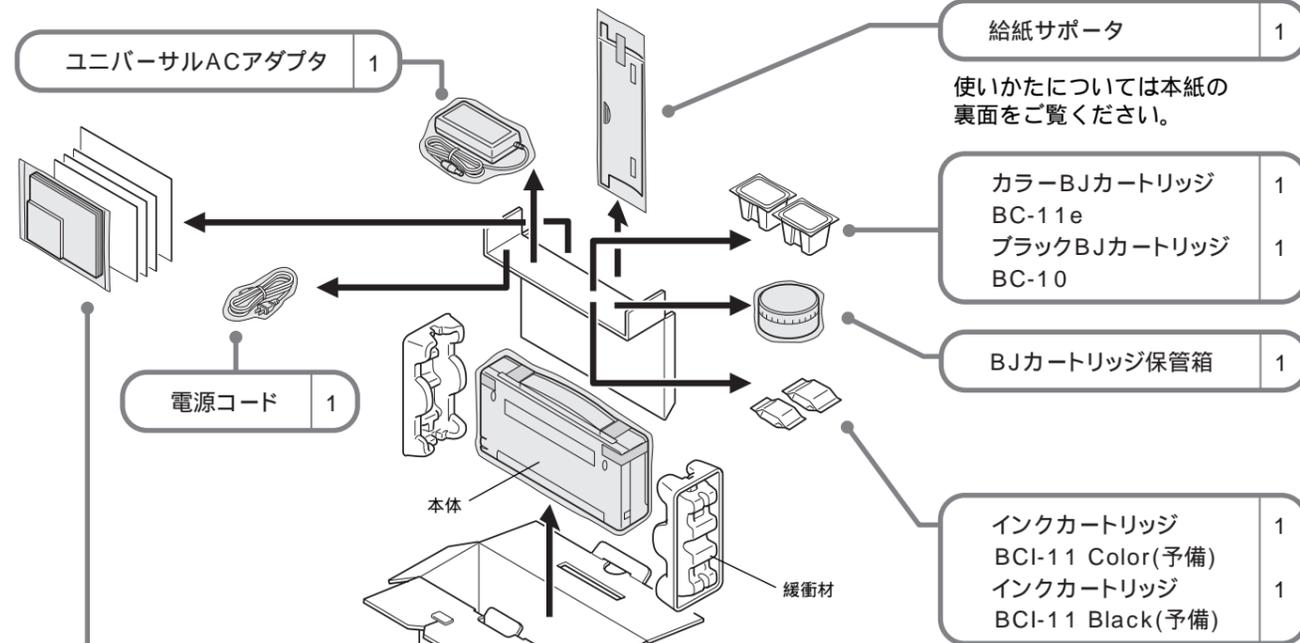


まずはじめにお読みください！

Canon
BJ M70

1 内容物をご確認ください

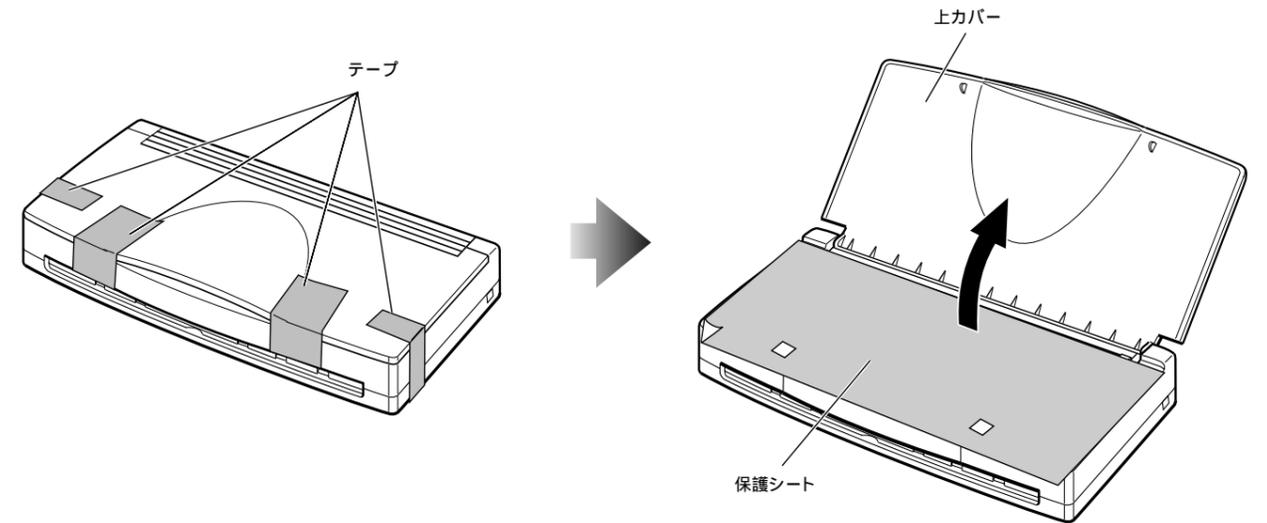
箱の中には次のものが入っています。すべてそろっているかお確かめください。万一不足や損傷しているものがある場合には、お買い求めの販売店にご連絡ください。



説明書類	CD-ROM類
まずはじめにお読みください!	1 BJDライバ
かんたんスタートガイド	1 ・プリンタドライバ (Windows 98/Windows 95対応)
操作ガイド	1 ・プリンタドライバ (Macintosh対応)
プリンタドライバガイド	1 ・プリンタドライバ (Windows NT 4.0対応)
キャノン純正マテリアルGUIDE	1 ・プリンタドライバ (Macintosh対応)
保証書	1 ・プリンタドライバ (Windows CE 2.1対応)
CIWSカード(キャノン国際保証書)	1 ・スキャナドライバIS Scan (Windows 98/Windows 95/Windows NT 4.0対応)
FDメディア郵送サービスのご案内	
ご相談窓口のご案内	
Windows 98のUSBインタフェースでドライバのインストールができないときは	

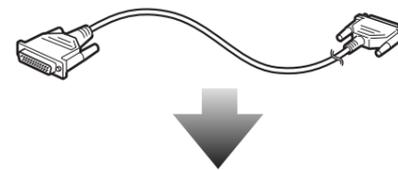
2 テープと保護シートを外してください

ご使用になる前に、輸送時の安全のためのテープと保護シートを本体から外してください。



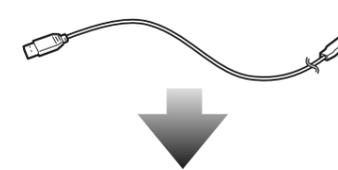
3 「かんたんスタートガイド」を読んでプリンタを設置してください

Windows 98/Windows 95/
Windows NT 4.0環境でパラレル
インタフェースケーブルをご使用の場合



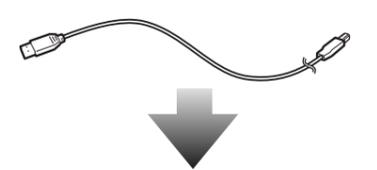
かんたんスタートガイド
Aコースを
お読みください。

Windows 98環境で
USBインタフェース
ケーブルをご使用の場合



かんたんスタートガイド
Bコースを
お読みください。

Macintosh(iMac/G3)
環境の場合



かんたんスタートガイド
Cコースを
お読みください。

プリンタの設置の手順がやさしく説明されています。

プリンタの詳しい使いかたについては、操作ガイドの「各説明書の読みかた」を参照してください。

* Windows NT 4.0では、「操作説明」がプリンタドライバと一緒にインストールされます。(「かんたんスタートガイドAコース」を参照)

内容物に関しては予告なく変更することがあるため、記載事項と異なることがあります。あらかじめご了承ください。箱と緩衝材はプリンタの保管や輸送の際に必要ですので、捨てないでください。

インタフェースケーブルについてのお願い

プリンタとコンピュータを接続するインタフェースケーブルは、接続するコンピュータに合わせて、キャノン製またはコンピュータメーカー純正のインタフェースケーブルを別途ご購入ください。詳しくは操作ガイド「付録」を参照するか、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

保証書を確認する

保証書は、お買い求めの販売店で、お買い上げ年月日などを記入することになっています。万一記入もれがあると、保証を受けられないことがあります。保証書の再発行はできませんので、大切に保存してください。

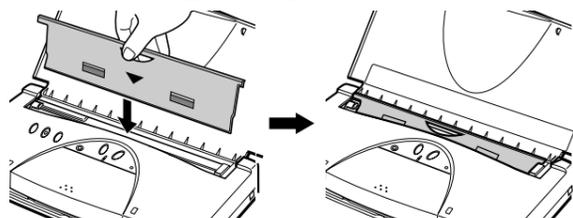
給紙サポータの使いかた

本製品に同梱されている給紙サポータは、給紙されにくい用紙を印刷するときに使います。この場合は、手差し給紙で印刷します。また、プリンタの内部のローラをクリーニングするときにも使います。

給紙サポータの取り付け

以下の手順でプリンタに取り付けます。

- 1 用紙ガイドを左側いっぱい寄せます。
- 2 給紙サポータを、すべらせるようにシートフィーダに装着します。



手差し給紙を行う

印刷する用紙の種類によっては、給紙がうまくいかない場合があります。この場合は、次の手順で、給紙サポータを使って手差し給紙で1枚ずつ給紙してください。

Windows 98/Windows 95の場合

- 1 給紙サポータをプリンタに取り付けます。
- 2 プリンタの電源をオンにします。
- 3 アプリケーションソフトからプリンタドライバの設定画面を開きます。詳細は「プリンタドライバガイド」を参照してください。



- 4 設定画面のメインシートで、[用紙の種類]を選択します。用紙の種類によっては、給紙方法を「手差し」に変更することを示すメッセージが表示されます。この場合は[OK]をクリックしてメッセージを閉じ、手順7に進んでください。

- 5 [オートパレット詳細]をクリックします。オートパレットのプロパティが表示されます。



- 6 クオリティシートで、[給紙方法]の[手差し]を選択してから[OK]をクリックします。
- 7 アプリケーションソフトで印刷を実行します。「用紙を入れてください」というメッセージが表示されます。
- 8 用紙を右側に寄せたまま、奥に突き当たるまで差し込みます。
- 9 メッセージの[OK]をクリックします。用紙が給紙され、印刷が行われます。

Macintoshの場合

- 1 給紙サポータをプリンタに取り付けます。
- 2 プリンタの電源をオンにします。
- 3 アプリケーションソフトからプリントダイアログを開きます。詳細は「プリンタドライバガイド」を参照してください。



- 4 [用紙の種類]を選択します。用紙の種類によっては、給紙方法を「手差し」に変更することを示すメッセージが表示されます。この場合は[OK]をクリックしてメッセージを閉じ、手順6に進んでください。

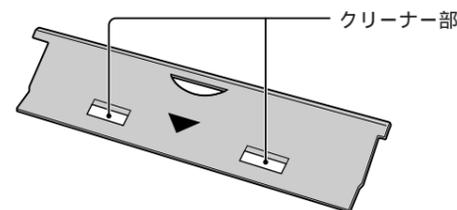
- 5 [給紙方法]の[手差し]を選択します。
- 6 印刷を実行します。「用紙をセットしてください」というメッセージが表示されます。
- 7 用紙を右側に寄せたまま、奥に突き当たるまで差し込みます。
- 8 メッセージの[OK]をクリックします。用紙が給紙され、印刷が行われます。

内部ローラをクリーニングする

プリンタを使用していると、用紙の紙粉がプリンタ内部のローラなどに付着します。そのまま印刷を続けると、用紙が正しく送られないことがあります。給紙サポータでローラをクリーニングすることをおすすめします。

 別売りのクリーニングシートキットは使用しないでください。お願い

- 1 給紙サポータのクリーナ部に水を十分含ませます。



警告

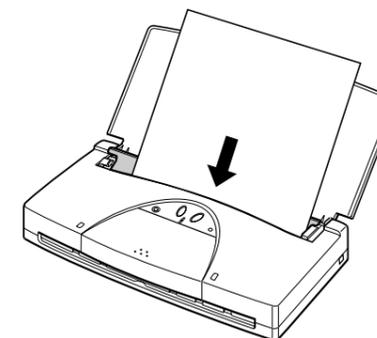
アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。火災や感電の原因になります。

- 2 給紙サポータのクリーナ部以外に付いた水分を拭き取ります。裏側も忘れずに拭き取ってください。

 プリンタ内部に水分が付着すると故障の原因になります。余分な水分は拭き取ってください。お願い

- 3 給紙サポータをプリンタに取り付けます。
- 4 プリンタの電源をオンにします。

- 5 リセットボタンを押したままにして、ピッとブザーが1回鳴ったらすぐに離します。プリンタ内部のローラが回転し、その後ブザーがピーッと鳴ってエラーランプが点灯し、ローラの回転が停止します。
- 6 リセットボタンを押します。ピーッとブザーが鳴ってエラーランプが消えます。
- 7 手順5、6の操作をさらに9回行います。
- 8 給紙サポータを装着したまま普通紙を1枚、先端が奥に突き当たるまで差し込みます。



- 9 リセットボタンを押したままにして、ピッとブザーが1回鳴ったらすぐに離します。普通紙がプリンタ内部に引き込まれます。
- 10 リセットボタンを押したままにして、ピッとブザーが1回鳴ったらすぐに離します。プリンタ内部に引き込まれていた普通紙が排紙されます。
- 11 手順8から10の操作をもう一度繰り返します。ローラに残った水分が除去されます。
- 12 給紙サポータを取り外します。
- 13 給紙サポータのクリーナ部の水分を拭き取ります。給紙サポータは今後も使うので、大切に保管してください。

ローラのクリーニングはこれで完了です。ここまでの作業を行っても給紙性能が回復しない場合は、このクリーニング作業を2、3回繰り返してください。